

【別紙】

劇団アルテミス+ヘット・ザウデライク・トネール 『ものがたりのものがたり』

オランダ南部を拠点に、結成以来30年にわたり国内外で広く活動を続ける青少年劇団。「子供向け」ではなく、「子供の目線から世界を捉える」姿勢で創作される作品群は、大人にとっても痛快かつシュールな刺激に満ち溢れ、あらゆる世代が集う観客席はいつも笑いに包まれています。

今回、満を持してアジア初上陸するのは、ヴェネチア・ビエンナーレ2019演劇部門で銀獅子賞を受賞したばかりの最新作です。芸術監督のイエツェ・バーテランが繰り出す、不条理で不謹慎、ラジカルかつ遊戯的な演出は、演劇のステレオタイプはもちろん、規範的な鑑賞態度をも軽やかに裏切り、あらゆる世代の観客の想像力を奔放に解き放っていきます。

同じくオランダ南部を拠点にするカンパニー、ヘット・ザウデライク・トネールとともに作り上げた本作は、目の前で展開される舞台に爆笑しながら、いつの間にか現代社会をちょっと斜めに捉える、そんな新感覚の演劇をぜひ体験してください。



Photo: Kurt Van der Elst